

# 管理所レビュー VOL.03

(H30.5.17 水源林管理所)

5月9日(水)の第3回のボランティア活動日は、前々日からの雨の影響により、間伐作業が実施できなかったため、杭作りとロープワークを行いました。皆様、大変お疲れ様でした。

今年度、精力的に運んでいただいている小径木を杭にする事ができ、今後の「道作り」に使用することができます。

間伐作業のみならず、「道作り」においても安全第一を心掛けた作業をお願いします。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

## 1 63名のご参加、ありがとうございます。



残念ですが、雨には勝てません。



テントも設営して準備OK。



ヒノキ小屋も使用しました。

## 2 作業の様子とワンポイントアドバイス。



それぞれの切り易い方向から。



テント内で奮闘中。



ヒノキ小屋でも。



丸太と台の固定を工夫中。



ノコギリの縦引きは大変です。



形のいい杭ができそうです。



ロープワークの習得は反復練習。



巻き結びも繰り返し。



40本余りの杭が出来ました。

### 3 再確認しましょう！

道志水源林整備活動における留意点を、参加される全ての方々に再確認及び共有しましょう。

#### ◆道志水源林・整備活動における留意点（作業編一部抜粋）

- ①受け口切りに入る前には、作業場所周辺の整理と退避路の確認を行なうこと。
- ②立木を確実に目標場所へ倒すためには、正確な受け口と追い口を切る事が重要である。安全作業のため、伐倒に伴う一連の作業動作の再確認を行なうこと。
- ③呼子（ホイッスル）は、追い口切りを終え、切り手の避難を確認し、ロープ引きの指示をする時だけ、“ピーー”と長く吹くこと。
- ④玉切り後の集材は、木口のいずれか一方を揃えること。
- ⑤掛かり木が発生した時は、インストラクターは直ぐに処理に動かず、掛かり木を良く観察して状態を把握した後、状況にあった処理方法の指示を行なうこと。

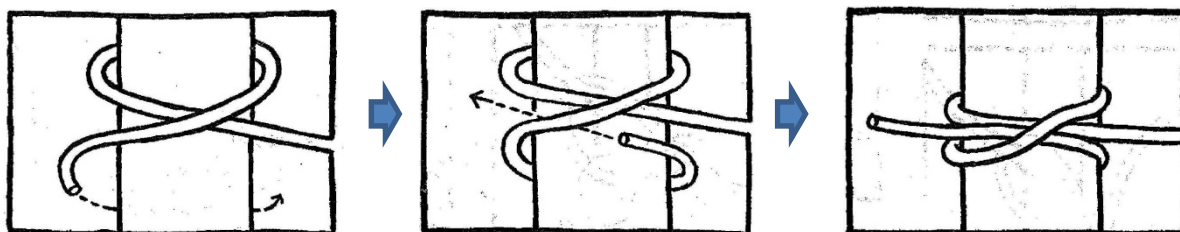


綺麗に木口が揃った材。

### 4 実践しましょう。・・・「巻き結び」。

今回のロープワークで実習した、簡単に結べて、ロープが緩みにくい「巻き結び」を実践しましょう。

「巻き結び」は、玉切り後の材の運搬に適しています。特に大径木の玉切り材の運搬時にロープが緩むと大変危険です。安全のためにも「巻き結び」を実践しましょう。



### 5 ご参加、ありがとうございます。

今回の活動に、株式会社サカエテック様から1名、メタウォーターサービス株式会社様から2名が参加されました。

横浜の水源である道志村の民有林をより良い水源林とするこの活動が、環境貢献活動に積極的に取り組まれている企業、団体様などの参加により、ますます広がることを期待します。

参加された皆さん、ありがとうございました。



株式会社サカエテック様。  
(掲載許可済み)



メタウォーターサービス株式会社様。  
(掲載許可済み)

※ 次回の第4回の活動では、「道作り」作業は行ないません。

※ 5月19（土）は、曇り時々雨、最高気温23度、降水確率40%の予報となっています。

※ 出発前には、最新の天気予報をご確認ください。

★それでは5月19日、気をつけてお越しください。